

# 南三陸町 復興まちづくり推進員 活動ブログ

南三陸町 復興まちづくり推進員の活動ブログ

The earth is the essences  
of nature. We wish it to be  
left as it is. Nature has  
given us many blessings.

[TOP](#) / 2013年度

2014年01月20日

## ささよ

南三陸町寄木地区で地域に約250年前から伝わる伝統行事「ささよ」が開催されました。



大漁旗が揺れる漁港で、地域の子も達全員で太鼓をたたき、その後、男の子による大漁と海の安全を祈願して唄い込みが行われました。



地域の約8割の住宅が津波で流出したこの地区において、バラバラな仮設住宅に住む皆さんが港に集まり、代々受け継がれるこの伝統行事を通じて子ども達の成長を見守る1日となりました。

## 検索ボックス

  
検索

## << 2014年01月 >>

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

## 最近の記事

- [\(01/20\)ささよ](#)
- [\(01/10\)役場への活動報告](#)
- [\(12/03\)仮設住宅でチューリップ植栽](#)
- [\(08/21\)仮設住宅で色鮮やかな花が咲き誇っています](#)
- [\(08/10\)歌津地区公共施設配置検討会が開催されました](#)

## 最近のコメント

- [富山大学の志賀准教授らが南三陸町訪問](#) by distenducconpe (08/10)
- [奥尻島視察レポート](#) by pasegnumrocu (08/04)
- [富山大学の志賀准教授らが南三陸町訪問](#) by espresparniven (08/04)
- [奥尻島視察レポート](#) by 藤沼建人 (10/17)
- [奥尻島視察レポート](#) by 口永良部島 (10/17)

## タグクラウド

## カテゴリ

- [日記\(0\)](#)
- [2011年度\(19\)](#)
- [2012年度\(24\)](#)
- [2013年度\(24\)](#)

## 過去ログ

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 14:30 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2014年01月10日

### 役場への活動報告

南三陸町役場を訪問し、企画課に対し、新年の挨拶と昨年1年間の活動報告を行いました。

活動報告と意見交換で、大変有意義な時間となりました。



担当課への都度の報告はしていても、こうして全体の動きとして状況を共有する大切さを再確認致しました。



本年もよろしくお願い致します。

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 14:28 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

- [2014年01月\(2\)](#)
- [2013年12月\(1\)](#)
- [2013年08月\(3\)](#)
- [2013年07月\(4\)](#)
- [2013年06月\(6\)](#)
- [2013年05月\(4\)](#)
- [2013年04月\(4\)](#)
- [2012年12月\(1\)](#)
- [2012年11月\(6\)](#)
- [2012年10月\(2\)](#)
- [2012年09月\(4\)](#)
- [2012年08月\(4\)](#)
- [2012年07月\(3\)](#)
- [2012年06月\(4\)](#)
- [2012年03月\(2\)](#)
- [2012年02月\(4\)](#)
- [2012年01月\(3\)](#)
- [2011年12月\(1\)](#)
- [2011年11月\(9\)](#)

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)

## 仮設住宅でチューリップ植栽

南三陸町歌津の「平成の森仮設住宅」で11月24日（日）午後、チューリップなどの草花の植栽が行われました。

町内で地域コミュニティの再生と復興まちづくり活動を推進している「復興みなさん会」（後藤一磨代表、会員11人）が、住民同士の交流を図り、絆を深めてもらおうと企画したもので、同会の会員や仮設住宅で暮らす住民およそ20人が参加しました。

午後1時に「カフェあづまーれ」付近に集合した参加者たちは、会が用意した600株と、豊岡市但東町から贈られた200株、さらに住民が持ち寄った200株、計1,000株のチューリップの球根のほか、パンジー、ビオラ、プリムラなどの苗を、仮設の入り口付近や「長生き坂」の愛称で親しまれている坂道のそばなど3ヶ所に植栽しました。

震災の年から始められ、今回で3回目の取り組みとあって、参加者らは「来春もきれいな花が咲くのが楽しみだね」「青空の下で身体を動かすのは気分が良い」などおしゃべりをしながら、慣れた手つきで丁寧に植えこんでいきました。

作業終了後は、全員で芋煮会を開催。里芋やニンジン、ゴボウ、白菜などの野菜のほか、肉などをふんだんに入れた芋煮を味わい、楽しく交流しました。





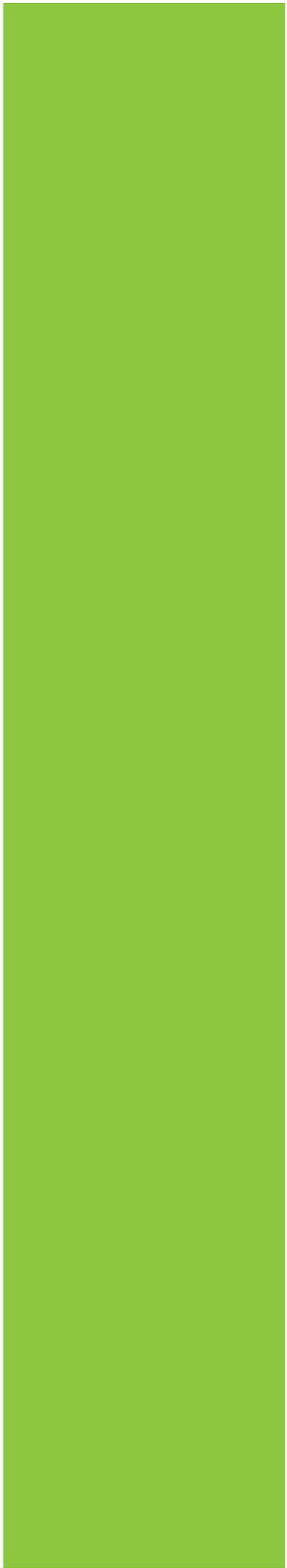
0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク



2013年08月21日

### 仮設住宅で色鮮やかな花が咲き誇っています

南三陸町歌津の平成の森仮設住宅で、住民たちが植えた色鮮やかな花が咲き乱れ、仮設に暮らす人々や訪れた人たちの目を楽しませています。

同仮設住宅では、入居直後から草花の愛好家らがスイセンやチューリップ、ヒマワリ、菊など四季折々の草花を植栽してきました。

今年の6月には、仮設住宅の入り口やメインの道路沿いに、ペチュニアやマリゴールド、サルビアなど500株を植えました。住民等は、水を遣ったり、雑草を抜いたり、肥料を施すなど丹精を込めて花を育ててきました。その甲斐あって、花々は連日の猛暑にもめげず色鮮やかに咲き誇っています。

秋には、来年の春に向けてチューリップやスイセンの球根を植える計画です。この植栽活動には、宮城大学の復興まちづくり推進員や復興みなさん会のメンバーもお手伝いをしています。



暑さに負けず咲き誇る花々



色鮮やかに咲き競う花



6月の作業風景



作業の様子



植栽作業に精を出すみなさん



みんなで笑顔の記念撮影



花を植えた後は、楽しくお茶会で交流

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 14:19 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年08月10日

### 歌津地区公共施設配置検討会が開催されました

7月30日（火）午後7時から、総合支所仮庁舎2階会議室で、歌津地区公共施設配置検討会が開催されました。東日本大震災で流失した歌津総合支所、歌津公民館、保健センターなどの公共施設を、震災前のように建設する予定になっていますが、場所をどこにするか町の計画が決まっておらず、歌津地区の住民の意見を聞かせてほしいとの要請を受けて開催されたもので、今回が2回目。歌津地区の町議会議員5人全員をはじめ、行政区長や契约会長、各種団体の代表などおおよそ20人が出席したほか、役場からは総合支所長、企画課長、建設課長等が出席しました。

この日は、主に支所の機能について検討が行われ、住民側からは、行政の対応が震災前と違ってきているとの指摘がなされ、産業振興係をきちんと配置するなど、震災前にあった機能を当然残すべきとの意見が出たほか、復興だけでなく、新しいまちづくりのビジョンを作る政策担当の職員を置いてほしいとの要望が出されました。次回は、8月28日（水）に開催される予定。



0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

2013年08月06日

## 椿のまちづくりお茶会開催

7月30日（火）午後、歌津平成の森仮設住宅集会所で、「椿はな咲くまちづくりお茶会」（復興みなさん会主催）が開かれました。会には、仮設住宅に暮らす住民34人が参加。長崎県五島市で作られている珍しい椿茶とお菓子を楽しみながら、和やかにまちづくりについて意見を交わしました。最初に、みなさん会の工藤真弓さんが、志津川地区で進められている椿の植生を活かしたまちづくりについて説明した後、3つのグループに分かれて、「昔の歌津、これからの歌津」をテーマにワークショップが行われ、グループ毎に話し合いの成果を発表しました。

この日は、名足地区に建設中の災害公営住宅の立体模型も披露され、UR（都市整備機構）の担当者が住宅団地の概要について説明を行いました。

この催しには、南三陸町の復興まちづくり推進員4人が、企画・広報、会場設営、ワークショップのファシリテーターなどをさせていただきました。





0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 14:12 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

**2013年07月28日**

### 第6回かもめの虹色会議のご報告

7月26日（金）に開催した6回目のかもめの虹色会議は豪雨にもかかわらず、11名がご参加くださいました。

いつも以上になんでも言い合えて、否定せず、現実的に誰がそれをするのかまでを考えながら、会議は進んでゆきました。



国道から南側の土地活用法については「はまもり」をコンセプトに、

①防潮堤を町有地までセットバックし、その窪地が埋まる高さまで盛り土して、ネイチャーセンターを「はまもり」の拠点とする。

②盛り土が足りない場合は、ネイチャーセンターは別のところにして防潮堤は国道までセットバックする。

③もしくは防潮堤と国道の間の窪地に盛り土をしないで、水がたまる環境を活かし、塩トマトづくりなどの新しい産業をみんなで展開する。

などが出ました。どのような展開になっても私たちは主体性をもって取り組むから、防潮堤からゆるやかに海に降りる手段だけは確保してほしいと考えました。

話は、森里海のつながりを自分たちの身の回り、排水問題などに立ち戻って考えることの必要性に到着。どうやって暮せば海がきれいに保てるか、海の恵みをいただいて生きる町民の成功は、後始末までが物語なんですね。

0 | 0  
いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 14:05 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年07月23日

## 第6回かもめの虹色会議のご案内

6回目のかもめの虹色会議のご案内です。



7月29日（月）には志津川地区まちづくり協議会の合同部会が開かれます。

その前に、これまで検討してきた渚のまわりの未来図を整理し、コンセプトを再確認、今の復興計画の中で、大切にしたいもの、ことを意識づけする会にしたいと思います。公園内部に関してはゆっくり考えてゆけるとは思いますが、防潮堤と国道の間の土地活用については、町としてもこの夏には方向性を打ち出す予定のようです。ぜひ、公園部会の皆さんをはじめ、ひろく渚のあるまちづくりにご興味のある方をご参加いただき、いろいろなお知恵を貸してください。

みんなで色を重ね合わせて、虹の橋を架け、なつかしい未来に会いに行きましょう。

いいね！

ツイート

 ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 14:04 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年07月10日

## 檜のまちづくりお茶会

南三陸檜ものがたり復興のご報告です。シリーズでいうと13弾目です。

7月5日（金）は登米市南方の仮設住宅集会所で、まちづくりお茶会を開催しました。

お客様は国内外から11名！参加住民は19名、計30人と賑やかでした。



みなさんお手製のお漬物アラカルト、たらす餅を、そして五島市の檜茶を頂きながら、まずは交流。仲良くなったところで4グループに分かれて昔の松原、これからの松原について話しました。松原というのは、50年前、海だったところで、震災前は埋め立てられていましたが、今回の揺戻しで、また海に戻りつつあるのです。皆さんは「松原」という地名を生かしたまちづくりをしたい、渚に戻りたい、津波の記憶を残す場所にしたい、など、主体性を持った表現で発言されていました。

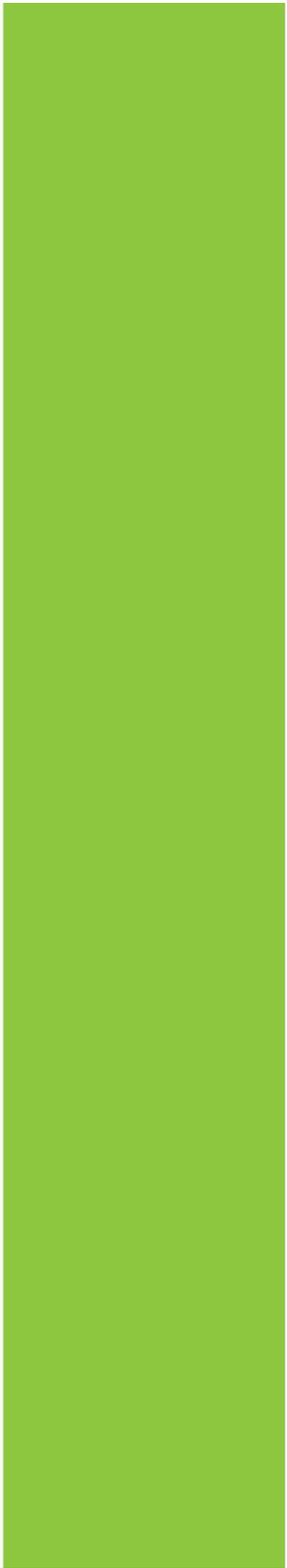


後半は、コンサルさんをお願いをして、今現在計画されている災害復興公営住宅の模型を見せていただきました(入谷と歌津)。



みなさんが入るかもしれない志津川の公営住宅の計画はまだ確定していませんので、前回のワークショップでまとめていた集会所への希望を、お母さん方の声としてお伝えしました。

大切なのは、そうして作って頂いた建物を、どう使うか。そのしくみづくりですね



0

0

いいね！

ツイート

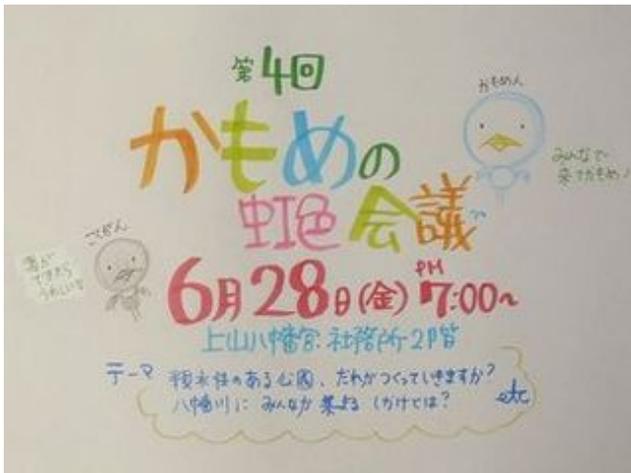
ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 14:03 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年07月03日

#### 第4回かもめの虹色会議のご報告

6月28日（金）に開催した第4回かもめの虹色会議のご報告です。



一人で思えば1色なことも、みんなで思えば虹色になる。

まちをつかって~というのではなく、まちをつくろう！という人になろう。

参加者は虹色以上でした。

今回は、前回挙がったみなさんの案を一つの絵にまとめたものを前に議論しました。

まとめて言う「国道から南側の民有地を盛り土し、ネイチャーセンターを拠点とし、志津川らしい渚を蘇らせる「はまもり」プロジェクトを立ち上げ、森里海の連携を学ばしくみづくりをしてゆきたい」というものです。もちろんこれは、まだまだ途上の答えです。



イメージ上の構想を、今後のまちづくりの話し合いの中でさらに検討し、現実と照らし合わせてゆくことがなにより大切。難しいなあと思っているのは、11メートル高になる国道45号線について。なかなかイメージが湧きません。国道から南側のエリアから、国道を

超えて市街地に行くときの連絡道はどうなるのか。未来図を立体化させることと合わせて、次回の宿題となりました。

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 13:59 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年06月23日

### 小島への松の植樹

先日のブログで紹介した、南三陸町寄木地区。住民の声が反映され、防潮堤計画が内陸に100mもセットバックされました。

湾に浮かぶ小島（松島と言います）を望む景観が守られることになったので、住民みんなで、その松島や周辺の小島に津波で流された松を植樹しようというイベントを区長や推進員が中心となって企画し、6月16日に植樹をしました。



地域の誇りを復活させるため今回は地区住民のみに呼びかけ、2/3以上の世帯がそれぞれの仮設住宅や避難先から集まりました。



いつもはバラバラの船に乗る漁師が乗り合わせて出港。



島は、断崖絶壁のため、こうして手渡しで植樹の道具を運びます。



そして植樹。こんな場所でも松は育つんですね。



そして、漁師の安全や大量を祈願する祠（ほこら）を建て直し、お神酒を交わしました。



海から見るとこんな場所です。3つの小島に35本の松の苗を植樹しました。



住民が自主的に集まり、地域の誇りを復活させる。素敵な植樹の機会になりました。

0

0

いいね!

ツイート

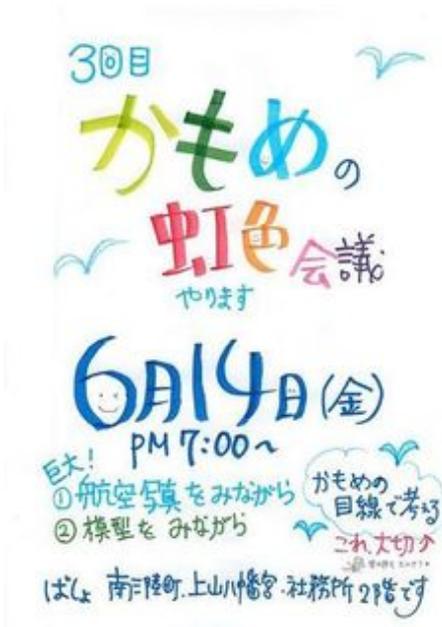
ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 13:17 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年06月17日

### 第3回かもめの虹色会議のご報告

6月14日（金）に第3回かもめの虹色会議を開催しました。



毎週という希望もありましたが、みなさんのご都合を配慮し、だいたい2週に1回の開催を目指して、皆さんと話し合いながら展開してゆきたいと思います。

今回の目標は、宿題の未来図をみんなで共有し合って可能性を探る、でした。

宿題をやってきたのは4名。これがみんな偶然にも、それぞれに得意な部分に集中したプレゼン?で、これを一つに合わせると理想的な一つのモデルになるのでは、という展開になりました。以下はその案の連なりです。

- ①国道と防潮堤(民有地までセットバックした場所)の間を盛り土して緩やかな傾斜でつなく
- ②その場所に海が一望できる木造のネイチャーセンターをつくり、海とのつながりを学ぶ
- ③渚は、養浜プロジェクトを立ち上げ、砂浜が戻ってくるように浜を育てる
- ④干潟は、残っている松原グラウンドを活かして一部を掘り込むことで可能性を生み出す
- ⑤森里海の連携の発信は、名産である志津川タコの8本足を活かす。などなど。

提案はいつも、それは誰がするんですか？ということを確認しながら行いました。

決して、こうしてください、ああしてください、ではない、こうします、ああします、といえるようになるための自己開発型会議です。この総合案と、いろいろな方々のアドバイスを参考に、さらに主体性を持って考え、次回のまちづくり協議会の参考資料に使っていただければ、みんなの貴重な時間が生かされ、さらにモチベーションが上がることでしょう。検討時間は限られています。



次回、カモメの虹色会議は6月28日です ^ ^

0 / 0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 13:13 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

## 2013年06月10日

### 復興てらこ屋（伊里前）を開催しました

6月4日（火）に第4回復興てらこ屋（伊里前地区）を開催しました。サッカーWcup決定の日と重なるという日程でしたが、30名程度の住民が参加し、行政やマスコミ・専門家なども大勢見学に訪れ、関心の高さを改めて感じる場となりました。



現在の行政が作っている計画案が示された模型を参加者で覗き込む様子。

これまででは、事業ごとの計画説明でしたが、始めてその事業が組合わさった伊里前の町の模型を見ることになりました。

またその後は、地元商店街組合や、若手有志が考えているまちづくり案も紹介して頂きま



した。

そして意見交換。意見が異なる住民同士が、お互いの考えを知り、話し合う時間。途中でグループ変更も行い更に話し合い。



今回は、将来の伊里前を考えるとともに、この状況から進めるために、今後どのように進めればいいのかを話し合ったことも大きな特徴と言えます。



そして全体で共有しました。

最後に、建設課長より今後の検討は「伊里前まちづくり協議会」を窓口として合意に向けた協議を進めることが明確にされました。説明会の実施を合意とみなされ事業が進む状況が回避され、今後は地区住民を代表する組織が協議し、合意を得ながら進めることが全体で共有されたことは大きな成果と言えると思います。

自由参加の勉強会としての復興てらこ屋としては、一区切りとなりますが、今後は伊里前まちづくり協議会として良い方向性が見いだして頂ければと思います。



復興てらこ屋の内容や、意見交換で挙げられた内容は全て記録し、参加者や関係者と共有しました。

0 いいね!

ツイート

ブックマーク



2013年06月07日

## 漁集コンサルによるヒアリング

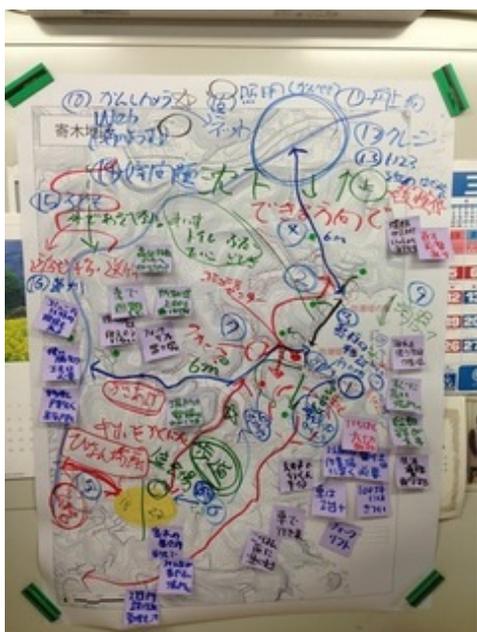
南三陸町の沿岸部の被災集落では、今年度から漁業集落防災機能強化事業の実施に向けた計画策定が町から委託を受けたコンサルタントによって始まっています。

そのコンサルによる地区住民へのヒアリングがありました。



住民の方々に対し様々な問いかけを行いながら、住民の声を地図の書き残していく進め方。

震災から2年が経過したものの、住居の高台移転と岸壁の原型復旧、防潮堤以外は、どのように復興させるのか検討すら始まっていなかったのがこれまでの状況。「1年半遅い！」と言った声も出ましたが、要望が次々と挙げられていました。



「津波が来たときにすぐに逃げられる避難道の整備」や、「地域の集会所」「作業場の整備」「地盤沈下への対応」などたくさんの要望が。

今回挙げられたものをどこまで復興事業としてできるのか、適切な復興事業費が、住民の声に基づいて適切に使われることを願いたいものです。

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 13:06 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年06月05日

## 第2回かもめの虹色会議のご報告

第2回目の「かもめの虹色会議」を5月31日（金）の夜に上山八幡宮、社務所の2階で行いました。



この会議は、会議というか、なつかしい故郷の実現に向かって、建設的な思いを伝えられるようにするための、「しゃべり場」です。

参加者は14人。

前半は、自由に空を飛ぶかもめの気分で、意見を交わしあいました。

後半は、橋の欄干に留まるかもめの気持ちで、意見を整理してみました。

整理するために掲げた軸は2つ。コスト面と、まちづくり効果です。

この2軸に合わせて、意見を整理してゆきました。

最後は、渚であそぶかもめの気分で、お互いの意見を味わいました。



印象に残った言葉は以下の通りです。

「渚を人が作るのではなく、自然がつくってゆけるような仕掛けづくりをどうするか、それにどう参加できるか」

「防潮堤で守るのでなく、松島のように、島を形成して、波を弱めたい。その展開方法とは」

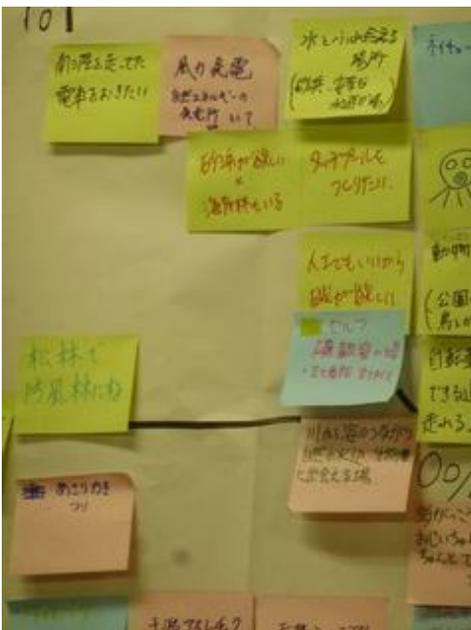
「高齢化を逆手にとって、知恵を活かした、ばーチャーセンター、じーチャーセンターとか」

「渚で遊ばせたいけどママたちは渚に最低限の安全性を求めているよ」

「高台移転で排水の問題が心配。浄化機能を担う場所としても渚は重要だ」

「防潮堤の向こうに南三陸の未来があるような気がする」などなど。

見学に来て頂いた記者さんからは「北海道の川の保全について活動してきた経験から、皆さんの森里海のつながりを大切にしたい想いを、どう現実を描けるかは、良い技術者と繋がることで叶うと思う」というご意見をいただきました。



かもめの虹色会議は、今後も、希望を実行するのは自分たちなんだ、という主体性を持って展開し、まちづくり協議会の部会に最大限活かすことで、現実性を膨らしてゆこうと思います。

0

0

いいね！

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 13:04 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年06月02日

#### 第4回復興てらこ屋（伊里前）のご案内

歌津の伊里前地区で第4回復興てらこ屋「どうなる伊里前？どうする伊里前？模型を見ながら話し合おう」を6月4日（火）に開催します。

**復興てらこ屋**  
復興てらこ屋は、復興に向けた学びの場です。様々な立場の方をゲストに招き、話題提供だけでなく、復興に向けて話し合う機会となります。より良い復興ができるよう学び、考え、語り合います。

**第4回 復興てらこ屋(伊里前地区)**  
**どうなる伊里前？どうする伊里前？**  
**模型を見ながら話し合おう**

現在、南三陸町では様々な分野の復興事業が進められています。歴史・風土に根ざした復興のためには、住民が主体的に関わり、考え、議論する場が必要であると私たちは考えます。

昨年秋より伊里前地区にて復興てらこ屋を3度開催し、「伊里前川の河川堤防」「伊里前地域の防潮堤」「国道(弘前町向線)の整備」について、それぞれ現在の計画の提供提供を行う会の担当部署と話し、互いの声を伝えることができました。その際にもそれぞれの事業計画について話し、今後、伊里前地区がどうなるのかについて話し合う必要がある」とのご意見が多数出たことから、今回は河川堤防・防潮堤・国道(弘前町向線)について現在の計画に向けた模型を準備し、その模型を見ながら住民同士で意見交換を行う機会を持つことにしました。当日は、南三陸町復興建設課の担当者にお話し頂き、住民の声を伝えると共に、国や宮城県の事業担当部署に住民の声を伝えるための資料を届けます。

住民が今後の伊里前地区を本気で考え、本音で議論する場になればと思います。

■日時 2013年 6月 4日 (火) 19:00～21:00  
■場所 南三陸町歌津総合支所 2階 会議室  
■内容 1. 模型を見ながら、現時点での伊里前地区の河川堤防・防潮堤・国道(弘前町向線)の整備計画について確認  
2. これからの伊里前地区についての意見交換  
3. 話し合った内容を全体で共有

※南三陸町建設課の担当者にご出席頂きます。  
※伊里前地区の住民は、ご招待でも参加できます。  
お話し合われる上、お気遣いご参加ください。

■主催 復興てらこ屋、宮城大学まちづくりコンソーシアム  
■協賛 宮城大学まちづくり協賛会  
■協力 伊里前まちづくり協議会、すばらしい歌津をつくる協議会  
■協力 宮城大学平岡研究室 (模型制作・提供)

<お問い合わせ> 復興てらこ屋 及川直孝 090-4227-0808

これまでの復興てらこ屋では、第1回「河川堤防」、第2回「防潮堤」、第3回「道路」をテーマに、現在示されている計画を理解し住民同士が意見交換を行う場を設けて来ました。

今回は、それらの計画を模型として確認し、住民が互いの考えを知り、今後の伊里前について議論すると共に、今後の復興まちづくりの進め方についても考えたいと思います。



宮城大学の平岡研究室に模型制作を依頼し、大変立派な模型を作ってきました。

また、今回の進め方については、町役場や地域の住民組織と何度も打合せや主旨・進め方の擦り合わせをした上で実施します。

参加する皆さんにとって、有意義な時間になればと思います。

0	0
---	---

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 13:01 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年05月31日

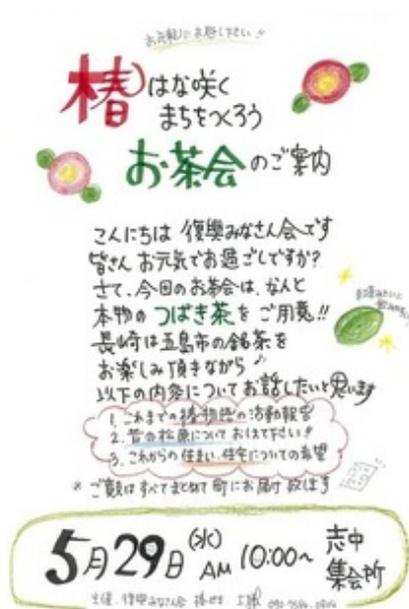
### 「椿のお茶会」開催記録

南三陸椿ものがたり復興のご報告です。

5月27日(月)に志津川小学校仮設の集会所で、椿のお茶会をしました。参加者12人。



5月29日(水)の志津川中学校仮設の集会所で、椿のお茶会をしました。参加者は22人。



いずれもテーマは①椿のまちづくり報告②松原の思い出を話そう③住まいについて、です。

今回は本物の五島市産、椿茶を、ご寄附いただいたので、みなさんで飲んでみましょう、と開催しました。椿茶は、紅茶のような味わいで、飲むと体がぼかぼかしてきました。



お茶会をして思ったことは、この町の歴史を誰よりも知ってるご年配の方々の声は凄く大切に、その声に耳を傾けながら、まちづくりをしてゆくことが、地形と呼応したまちづくりにつながってゆくだろう、ということでした。以下は、印象に残ったコメントです。

「志津川らしいところを一つは残してほしい、海に気軽にいけるところとか」

「高台移転したら渚があっても簡単には下りられない、町民バスがいっぱい走ってほしい」

「ロープウェイがあればいいなあ」「漁業権を気にせずフノリや浅瀬を味わいたい、特区にして子供たちには獲る楽しみを伝えたい」

「私たちは生きてるかどうかかわかんないけど、未来の子供たちのために考えるのっさ」。



5月27日開催分の記録。配布や掲示と共に、役場やまちづくり協議会にもにも実施した旨をお伝えしています。



5月29日開催分の記録。この日はコンサルさんも参加してくれました。

榎のお茶会は、仮設住宅の集会所で開催する、誰でも気軽に参加できるお茶会です。おしゃべりしながら、まちづくりに対するご意見を幅広くお聞きしたり、現在のまちづくりの情報をお伝えしたりしています。平日の日中に開催しているので、年配の女性の参加が多いです。普段、まちづくりの会合には世帯主の方が多いので、皆さんの思いの話せる貴重な機会になっているようです。



ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:57 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年05月24日

### 柘沢団地移転予定者の会合

5月9日（火）に伊里前地区柘沢団地の移転者の会合が開催されました。

これまでは移転希望者が自主的に集まり話し合いを行い、その場に役場やコンサルに来て頂く形式でしたが、3月によく移転候補地の概要が決まり、移転予定者も決まったことから、今回からは町から委託を受けたコンサルが主導して移転に向けた話し合いが進められる事になりました。また、伊里前まちづくり協議会の一部として位置づけられるようにもなりました。

移転予定者の約2/3の世帯が参加しました。



今回は、土地利用計画の確認と今後の進め方についての内容でした。

今後は、月1回程度の集まりを通じて移転先に向けた様々な事項を決めていくこととなります。

0

0

いいね!

ツイート

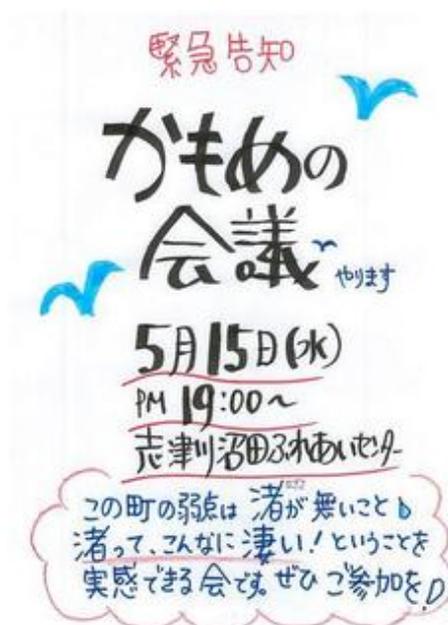
ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:52 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年05月17日

### 第1回かもめの虹色会議

5月15日に開催した第1回目の、かもめの虹色会議。竜巻注意報が発令された中、この町の未来のキーマンともいえる面々に集まっていただき、素晴らしい時間を過ごしました。会議というより、かもめの虹色勉強会でしたね。多彩な豊かさがありました。



これまでの疑問や質問を海洋学の巨匠、ネイチャーセンター準備室の方にお伺いしながら、この町の資源を改めて再確認しました。海の豊かさは、川や、森がどうあるかによって決まる、とすれば、この町は、山から海まで一連の学びが出来る贅沢な場なのですね。そのつながりを感じて動けることが大切ということでした。



このかもめの虹色勉強会での収穫は、町も県に頼んでくださっている「防潮堤をセットバックし渚を復活させたい」という住民の案を、実際に町として県に提言する際の重要な知識となります。公園部会で活かしてゆけますね。問題は提言には期限があるということ。



すこしでも見識を広げてこの町の魅力を未来に残したいと思います。次回は神社で行う予定です。

0 0  
いいね!

ツイート [ブックマーク](#)

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:51 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

## 2013年05月10日

### 防潮堤計画が修正されました。

南三陸の沿岸部は、高さ8.7mのコンクリートの防潮堤で覆われる計画が進められています。

ここ寄木地区で防潮堤の建設方針が最初に示されたのが、2012年2月。推進員として奥尻島にも視察に行きました。

2012年11月の説明会で高さ9.08m、奥行21m、長さ454mの防潮堤が海にせり出す位置で建設される計画が示されました。



そして今年2月に、このまま防潮堤計画を進めていいのか話し合う住民会議を区長や推進員が中心となって開催し、「寄木地区として現計画での防潮堤は反対であること」「安心安全のためには内陸に位置を移して防潮堤を建設してほしい」旨を決め、地区として県や町に要望しました。



そして、今回、防潮堤計画の修正案の説明会があり、内陸に70m~100m移した位置での防潮堤計画が示されました。全長は、1/3以下になり、コンクリートを海に流し込むこともなくなり、集落から海が見える環境も守ることができた上で、安全のための防潮堤が作られることになりました。



住民がまとまり声を挙げたことにより、計画が修正され、住民が大切にしたいことが尊重されることになりました。

説明会が終わったあとの区長さんを始め、皆さんのホッとした表情が印象的でした。

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:47 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年04月30日

## 椿のお花見

南三陸椿物語復興のご報告です。

4月23日に、志津川小学校の仮設のお母さん方とお花見をしましたよ。



小学校の仮設から神社まで歩いて10分もかからない距離なので、お散歩がてらのお花見です。

境内の、やぶ椿は、今年はことさら美しく、たくさん咲いてるように思えます。

まるで春の果実がたわわに実って揺れているようです。



この日の境内は、椿の他にも、桜、こぶし、白もくれん、スミレ、水仙も咲いていて、まるで秘境のようでした。



3月に別の仮設のお母さん方と植樹した椿の苗の育ち具合も確認しました。お参りをし、志津川名物、「たらし焼き」を作りました。小麦粉、水、砂糖、そしてお味噌を混ぜて焼くだけの、もちもち甘い「たらし焼き」は、昔からある私の町のおやつです。暖かかったので、外で頂きながら、京都の法然院さんの椿の写真を眺めたり、次はなにをしよう、という話に花を咲かせました。

「なかなか一人では来れないよ、また企画してね」とは椿姫、みなさんの言葉。仮設住宅担当の生活支援員さんとも連携しました。



来月は毛糸で椿のブローチを編んでみたいと思います。まちづくりの話もしながらね。



創作中の「椿のうた」は、もうすぐ発表 これからも南三陸の椿物語復興をお楽しみに  
～！

0 0  
いいね！

ツイート

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:43 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

## 2013年04月22日

### 他地域から学ぶ高台移転

4月17日（水）に、すばらしい歌津をつくる協議会の定例会合が開催されました。



定例の報告事項に続いて「気仙沼市小泉地区における高台移転の取組みについて」の講演が行われました。

被災当初から住民同士が何度も話し合い、外部の専門家や行政と話し合いを重ねる中で高台移転を進めている小泉地区の状況は、歌津地区で高台移転を進めている参加者にとっても、大変勉強になるものでした。



地域コミュニティを大切にしながら、良い町を作っていきたいとの思いは共通しており、今後の進め方に参考になる貴重な機会となりました。

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:39 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年04月15日

### 今年度の活動計画

南三陸では、復興まちづくり推進員4名の活動を共有し、次へのアクションにつなげるミーティングを定期的を実施しています。

昨年度（平成24年度）は、数えてみると合計38回も開催していました。日々の積み重ねの大切さを実感します。



活動拠点である神社の社務所で行われる定例ミーティングの様子。

そして今回は新年度に入ったので、今年度の活動計画を建ててみました。



これまでの動きを継続する活動、新たに挑戦する活動、進行中の事業を考慮した活動など、様々な取組み案が挙げられました。

今年度はこの計画に時々立ち戻りながら、活動を進めていくことになります。



「各地区の復興事業対応」「イベント・勉強会企画」「椿プロジェクト・植栽」「運営面」の大きく4つに分類して整理しました。

それぞれの活動をサポートし合いながら今年度も活動していきます。

0 0  
いいね!

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:37 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)

2013年04月10日

### 椿植樹のバスツアー

南三陸では、「椿」をキーワードに椿物語復興を進めています。

3月27日（水）に、登米市南方仮設住宅のお母さん方14人と、宮城大学さんの支援を受けて、志津川地区の高台に25本の椿を植樹するバスツアーを開催しました。





お昼は社務所の2階でお弁当をいただきました。春わかめの味噌汁も作って、三陸の春を味わいましたよ。

参加者の最高齢者は87歳の女性。



未来に祈りの道を残す活動に参加され、貴重なお役目を果たしてくださいました。こうして南三陸町に、すこしずつ、着実に、椿の道が増えております。



今できることを、今できる人たちと。

南三陸椿物語復興は、春の日の中を、ゆっくりゆっくり進んでいます。



後日、この記録を作成し、お配りしました。

0 0  
いいね！

ツイート

ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 12:33 | [Comment\(0\)](#) | [2013年度](#)